

第4回 多久市総合計画審議会 議事要旨

1 日時

令和8年2月4日（水）14時00分～15時00分

2 場所

本庁4階 大会議室西

3 出席者

【委員】 総合計画策定委員（12名）

【事務局】 総合政策課、有限責任監査法人トーマツ

4 議事要旨

I. 会長挨拶

II. 報告事項

(1) 前回審議会の意見について

前回の審議会の意見（資料1）について、事務局から振り返りを行った。

(2) パブリックコメントの結果について

パブリックコメントの結果（資料2）について、事務局から説明を行った。

III. 協議事項

(1) 総合計画後期基本計画・総合戦略素案について【別冊】

(ア) 完成した計画本編の共有

基本計画の構成と内容について、事務局から説明を行った。

審議会委員からの主な意見等は以下のとおり。

委員意見	事務局回答
・P27の「役割分担」は前回色分けしてわかりやすくなっていたが、これは資料が白黒だから見づらい。市民にとっては「役割分担」が一番重要、ここの表記が読み飛ばされないように注意してほしい。	・冊子にする際はカラーとなり見やすい誌面となるよう工夫していく。
・役割分担の「市民」の内容について、「協力します」「努めます」といった表現が適切ではないか。市民にわかりやすい伝え方を検討してほしい。	・表現については検討していく。

(イ) 国の新しい戦略公表を受けての多久市総合戦略の一部更新について

総合戦略の一部を更新したことについて、事務局から説明を行った。

IV. 答申

・審議会委員より答申をいただき、会長より市長へ答申書の受け渡しを行った。

V. 委員の皆さまから一言

・委員から質問があったように言葉が難しかったと思いますが、私としては良いものであったと思います。
・若者が永住する多久市になってほしい。そのためには多久の今後のあるべき姿について今後も話していきたいと考えている。話し合いの機会を設け、その席に多久の企業をお招きしていきたいと思う。
・私自身が移住してきた人間であり、いろんな方が協力いただける体制は素晴らしいと思うし、助けられる部分もあった。私もできる限り市に貢献できることをしていきたい。
・総合計画に触れたことがなく、今回初めて自分が触れていない分野でもどんな方針でいくのかなど、勉強させてもらった。ただわかりづらい面があり、市民からしてもこの量を読むのは難しいので、無関心になってきてしまう点があると思う。次回策定の際には市民のみなさんでもわかりやすく行動に移せるような計画を作ってほしい。小・中学生も市民なので、子どもでも我がごとになるように、わかりやすい計画にしてほしい。
・子育て世代向けの施策が多かったので、現役の子育て世代の意見を反映するとよりよいまちになると思う。
・計画に情報提供いただいたのは職員や市民の方全員か。作るのは結構だが、日ごろから感じているのは総合計画・総合戦略・行政評価の3つセットに近いと思っているが、このことについて情報提供されていないと感じる。
・現状と課題で分けて記載されているが、職員の方がここに書かれていることを把握してめざす姿を考えて仕事をしてもらいたい。
・職員の行政経営に対する意欲向上につなげると記載があるが、そういったところが見受けられない。計画を意識して仕事していただきたい。
・農業従事者は70歳を越えている。5年後、続けられるかわからない人が多い。5年後というよりも今の市民をどうしていくかが計画の中に入ってきてほしいと思う。どうかせざるを得ない農業になっていると自覚してほしい。
・審議会委員に20代30代の若い人がいない。若い人の意見も聞かないとだめだと思う。(審議会を構成している)各組織から、年齢が高い人が集まっているので若い人も委員に入れてほしい。
・スポーツもしているので、多久の地を生かしたスポーツで人を集めてほしいと思っている。
・一人一人が尊重し合って安心して過ごせる社会を目指しているが、一人の力ではできるものではない。総合計画もそうだが、企業や団体、市民一人一人が意識をもってやっていくのが必要だと考えている。計画が市に浸透していないということもあり、計画書を見られない人も多いと思うが、職員が指導しながら目標に向かってどうしていくのか考えていくと少しでも良い方向に向かっていくと考えている。それぞれができることを頑張っていたらいいと思っている。
・公募で参加したが、先ほど意見があったように若い人がこの場に参加してもよいのではないかとと思う。
・これから具体的な取組に取り組んでいくと思うが、これは提案だが民間企業に勤めていた時に顧客満足度、従業員満足度が流行ったことがあり、そういった制度を取り入れてもよいのではないかと。アンケートを使って市民満足度、職員満足度をもとにして、第三者の目線で「こういった制度がいい」という意見があると思うので、それを参考にしたらいいと思う。

<p>・細かい話だが、11月に30代の方が転入してきた。佐賀で移住・定住策があるが、転入してきて補助などあったかと問うと（補助条件に合致せず、）なにもなかったということだった。今、どこも移住を進めている動きがあるが、補助を受けるには様々な条件をクリアする必要があるのでハードルが高い。その条件を緩くするのも必要なのではないか。</p>
<p>・昨今の人手不足においては商工会の方も言っていたが、人というのが一番大切だと思っている。今、多久に必要なのは人を増やす、減らさないということだと思う。</p>
<p>・計画は作るのが目的ではなく、あくまで手段であり、これを実行することが大切である。職員だけでなく市民も意識していくことだと思うので、しっかりとこの計画に基づいた行政経営をしていただければと思う。</p>
<p>・審議会では立場の違う方があつまり、いろんな意見が交わされる中、改めて総合計画づくりの必要性を感じた。この計画は行政だけでなく住民が主体的に作り、連携が必要だと思う。夏祭りも昨今の気温上昇や子供が少なくて参加者が少なく開催できないことが増えている。それが活性化といえるのか、考える機会となった。</p>
<p>・多久市の計画がこの会議の中で考えられるというのが驚きだった。これだけの考えをもって意見が交わされるのを拝見して、何かしら協力できればという気持ちになった。</p>
<p>・多久市はウォールアートしたり、活発に活動していると思う。そういう元気さを持った人もいるし、面白いことができていると思う。</p>
<p>・若い人を増やさないといけないということもあるが、今現在、高校生も市外からきてくれている。まずは高校生の時に住んだりすることが、定住のきっかけになるといいと思う。いろんな企業を誘致して定住のきっかけを増やし、多久がもっといい場所になればいいと思う。協力できるものは積極的に協力して、多久を明るく盛り上げられるようにしたい。</p>

以上